

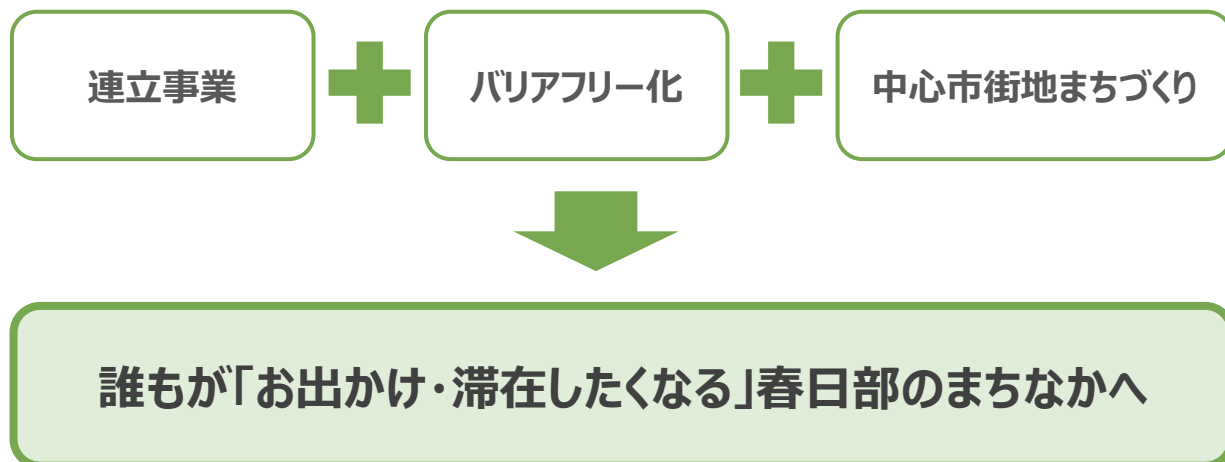
第3章

春日部駅・八木崎駅周辺における バリアフリー化の基本理念と基本方針

1. 基本理念

春日部駅・八木崎駅周辺は、連立事業を契機として中心市街地の総合的なまちづくりの再整備を目指す絶好の機会を迎えています。

中心市街地のまちづくりでは、居心地の良い、人中心の歩きたくなる(ウォーカブルな)まちを目指しており、これらに合わせてまちのバリアフリー化を進めることにより、誰もが「お出かけ・滞在したくなる」春日部駅・八木崎駅周辺とすることを基本理念とします。



2. 基本方針

中心市街地バリアフリー計画では、連立事業や中心市街地のまちづくりなどを踏まえながら、以下のとおり4つの基本方針を定めます。

方針1：「当面の取組」と「連立事業と合わせて行う取組」の2段階方式

- ・春日部駅・八木崎駅周辺では連立事業により踏切の除去や春日部駅東西の連絡などの抜本的なバリアフリー課題の解決を図ります。
- ・ただし、連立事業が完了するまでの間、当面の取組としてできるバリアフリー化と連立事業完了後の新しいまちの姿に即したバリアフリー化の2段階方式により取り組んでいきます。

方針2：移動等円滑化に留まらず、「お出かけ・滞在したくなる」ための取組を実施

- ・移動経路や施設のバリアフリー化は、高齢者や障がい者等が外出するための「必要条件」ではありますが「十分条件」ではありません。高齢者や障がい者の方々が「お出かけ」や「まちなかで滞在」を楽しめるよう、広場や休憩施設、修景などの整備にも取り組みます。

方針3：適切な情報提供と市民の心のバリアフリー化の推進

- ・施設や設備などのバリアフリー化が進んでも、利用者に知られなければ利用は促進されません。また障害は人によってさまざまであり、外国人来訪者等にも対応する必要があります。そのため、多様な障害や言葉の違いにも対応した適切な情報提供を図ります。
- ・また、例えば視覚障害者誘導用ブロックのうえに駐輪をしてしまう、身体障がい者用の駐車スペースを一般の車が使ってしまおうといった、バリアフリーに対する理解不足により生じる問題もあります。これらの改善を図るため、バリアフリーに関する理解促進、啓発、マナーアップにも取り組みます。

方針4：継続的に取り組むバリアフリー

- ・バリアフリー化の整備は完了したら終わりとするのではなく、計画(Plan)、事業実施(Do)、検証(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルを通じて、段階的・継続的に発展(スパイラルアップ)させていきます。